

「スポーツ」や「文化」と「観光」が結びついた優秀な取り組みを実践している団体を表彰する「スポーツ文化ツーリズムアワード2020」において『TOYOURA世界ホタテ釣り協会』（チェアマン 宇川裕哉氏）が特別賞である「食文化ツーリズム賞」を受賞しました。

『TOYOURA世界ホタテ釣り選手権大会』は、豊浦町が誇る地域資源「ホタテ」と「スポーツフィッシング」を融合させたコンテンツとして、産地の新鮮なホタテを使用するからこそ競技として成立する地理的メリットを活かし、公式ルールやホタテが活発に動く海水温度や濃度などを検証、平成21年から大会を開催し、今まで個人戦や団体戦を合わせて延べ4,180人が参加しました。



みんなアリガトーツ

受賞を受け、ホタテ釣り協会の事務局（一社）噴火湾とようら観光協会は「これまで好意的にご支援いただいた漁業関係者や、大会や体験時の運営スタッフの協力など、地域一丸での取り組みが評価されたことに大変喜びを感じ

ています。今回の受賞を通じて、歴史ある豊浦町のホタテに対しあらためて全国から注目が集まることを期待するとともに、ホタテを通して豊浦町をPRしていきたい」と話していました。



### 特産品を使った新商品開発にも着手!!

TOYOURA世界ホタテ釣り協会では、このコロナ禍でホタテ釣り選手権の開催が困難ななか、インターネットを活用して「おうちで出来るホタテ釣り体験セット」を期間限定で販売するなど、精力的に活動を続けています。

ホタテ釣り体験セットはこの秋にも一般販売を開始予定で、ふるさと納税の返礼品に活用することも検討されており、町のPRに一層の期待が持てそうです。

